6. 日本美術刀剣保存協会たたら「日刀保たたら」の操業

鉄鋼新聞　２００５.２．７.記事より

「たたら製鉄の操業は『秘技』とよくいわれますが、ぜひ一度みたい」とよく聞かれる。つい最近も同じ質問を受けたところ。
古い資料を整理していて、かつて　友人が送ってくれた「日刀保たたら」の操業を伝える新聞記事がでてきました。
最近では、色々「たたら」製鉄の復元実験をトライされているところがありますが、実際の操業を見ることが出来る機会はほとんどありません。
この鉄鋼新聞の記事は、たたらの実際の操業をわかりやすく伝えていて　参考になると思い、友人に送りました。
ちょっと　古い記事ですが、日本で唯一実操業で「玉鋼」を生産している「日刀保」のたたら。
資料整理を兼ねて　ご参考にホームページに掲載しました。

2010.5.1.　by　Mutsu　Nakanishi

「鈩（けら）出し」スタート

朝5時半、気温マイナス10度

村下（むらげ）の合図で始まった

たたらの側面から炉を崩していく

鈩出しを終え満足そうな木原明・村下（むらげ）

1200度C超の鉄塊

灼熱の世界、一瞬のどよめき

構の側面を崩すと大きな炎が立ち上がる

鉧が見え始め最高潮に達する

炉が崩れ、鈩出しが完了

日本製鉄業の源流「たたら」

たたら場

「日刀保たたら」の記念石碑

出雲の地で生きる匠の技

鉄づくりの本質に迫る

道具類

砂鉄

砂鉄を入れる

ノロ出し

3昼夜かけ2トンの玉鋼（たまはがね）

みなぎる緊張感

「たたら製鉄」とは

日刀保たたら〔日本美術刀剣保存協会たたら〕の操業　　奥出雲　横田町

鉄鋼新聞　2005 年　2 月 7 日　より